

# 発達障害児教育論

[講義] 第4学年 前期 選択 特支必修 2単位

《担当者名》 今井 常晶（心） imai@hoku-iryo-u.ac.jp 佐藤 健一（非）

## 【概要】

発達障害児教育に関わる福祉や法制度を整理し、発達障害児に対する理解と支援の方法について学ぶ。特に、肢体不自由・病弱・重複障害児教育および視覚・聴覚・知的障害児教育について、事例を通して理解を深める。

## 【学修目標】

様々な発達障害児の特徴について理解する。

発達障害児教育の現状について知り、教育課程や支援の方法について理解する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の概要について理解する。	今井
2	障害のとらえ方	ICFの考え方や一次的・二次的障害、情緒障害について理解する。	今井
3	発達障害とは	様々な発達障害の特徴について理解する。	今井
4	発達の見方と発達段階	発達の見方や発達段階について理解する。	今井
5	発達障害（LD・ADHD）と病弱	LD・ADHD、病弱の特徴や教育方法について理解する。	今井
6	障害児教育の実際	肢体不自由、病弱教育の現状と課題	佐藤
7	障害児教育の実際	重複障がい教育の現状と課題	佐藤
8	肢体不自由・病弱教育について	特別支援学校での観察参加	佐藤
9	重複障害児教育について	特別支援学校での観察参加と報告書の作成	佐藤
10	医療併設特別支援学校と医療ケア	教育と医療、福祉との連携	佐藤
11	特別支援教育の現状	北海道における特別支援教育の現状と課題を知る	佐藤
12	知的障がい教育	知的障がい教育の現状と課題	佐藤
13	知的障がい教育	特別支援学校での観察参加	佐藤
14	知的障がい教育	特別支援学校での観察参加と報告書の作成	佐藤
15	知的障がい教育	知的障がい教育と社会参加	佐藤

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

各教員から授業内で課される課題や授業態度を総合して評価する。（100%）

## 【教科書】

特になし。適宜資料を配布する。

## 【参考書】

講義の際に適宜指示する。

## 【備考】

コロナの感染が拡大して対面授業ができなくなった場合は、zoomによるオンライン授業になる予定である。

## 【学修の準備】

授業範囲を予習し（90分）、専門用語の意味等を理解しておくこと。

各回に学んだことを復習しておくこと（90分）。

## 【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」（免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目）

心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目  
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程および指導法に関する科目  
中心となる領域：LD（重複、情緒、LD、ADHDを含む）  
含む領域：視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者

**【実務経験】**

発達障害児に対する発達支援の実務経験あり（今井担当分、公認心理師・言語聴覚士・音楽療法士）  
小学校、特別支援学校、大学における教員養成学科での教育経験あり（佐藤担当分 含む特別支援学校）

**【実務経験を活かした教育内容】**

今井担当分の回は、関連した事例を話題提供する。

佐藤担当分の回は、特別支援教育の現状と課題・学習指導要領と教育課程の管理・関係法律と制度等についての内容を提供する。  
学習指導や社会参加への指導の関係文献、資料の提供・解説に努めるとともに実際の授業参観を実施する。